



浜岡中学校が東海大会出場

第45回東海中学校総合体育大会に出場する浜岡中学校の陸上競技部と女子バレーボール部が8月3日、柳澤市長に大会での健闘を誓いました。

陸上競技部は、第69回全日本中学校通信陸上競技静岡大会の「低学年4×100リレー」で5位になり、三重県で開かれる東海大会への出場権を獲得。2年生の増田啓人さん(塩原)は、「県大会ではアクシデントがあり、5位になってしまったが、東海大会に出場できてうれしい。静岡県の代表チームとして、期待を背負って走り抜きます」と自信をもって述べました。

女子バレーボール部は、第76回静岡県中学校総合体育大会バレーボール大会で3位となり、岐阜県で開かれる東海大会への出場権を獲得。3年生の増田純果主将(朝比奈原)は、「東海大会までに県大会で見つけた課題を改善し、一人一人の長所を生かしたプレーで優勝したい」と語りました。

柳澤市長は「練習の成果を出し切り、優勝を目指してほしい」とエールを送りました。

◀東海大会での活躍を意気込む生徒



学校給食作りを親子で体験

学校給食センターで見学・模擬調理体験をするツアーが8月4日に開かれ、市内の小学生親子65人が参加しました。

参加者は、調理員の説明のもとエアシャワーや野菜洗浄などを体験し、約3,000食の給食ができるまでの過程を学びました。参加者は「給食が作られるまでたくさんの工程がある。残さず食べたい」と話しました。

◀汁物などが作られる大きな釜で具材を混ぜ合わせる体験をする児童



いざという時には救助者に

有事の際、地域で活躍する子どもを育成する「防災キャンプ」が8月4日から5日にかけて、比木体育館で実施され、市内の小学5～6年生17人が参加しました。参加者は、ポリ袋を活用した夕食作りや段ボールベッドでの就寝など避難所生活を体験。

岡村李那さん(上比木)は「困ったときは協力し合うことが大切だと感じた」と話しました。

◀市消防署職員の指導のもと、AEDの使用方法を学ぶ参加者



アカウミガメの子ガメふ化

御前崎市の砂浜に産卵された絶滅危惧種アカウミガメの卵が8月7日、今季初めてふ化しました。

今季初産卵の6月6日に保護した105個の卵から23頭の子ガメが誕生。ウミガメ保護監視員により海に放流されました。早朝5時30分ごろにふ化を発見した福田伸次保護監視員は(東町)は、「ふ化を確認でき安心した。大きく成長してほしい」と目を細めました。

◀海岸から移殖されたふ化場でふ化した子ガメ



アジア大会でメダルを獲得

「ASL アジアサーフィン選手権」に日本代表として出場し、オープンウィメンズと18歳以下ガールズで優勝した佐藤李さん(白羽区)と、同クラスで準優勝と3位になった池田美来さん(中町)が8月8日、柳澤市長に大会結果を報告しました。

柳澤市長は「世界で活躍する選手が2人もいることがとても誇らしい」と喜びました。

◀国別でポイントを競う部門でも準優勝し、メダルを獲得した2人

※本紙8月号に詳細を掲載しています。



小中学生が縁日でもてなし

浜岡中央児童館わくわくクラブに所属する小学4～中学2年生15人が8月10日、浜岡福祉会館で「縁日ごっこ」を開催し、未就園児の親子48人が来場しました。

児童や生徒は、これまでの活動で用意した道具などを用いながら、水ヨーヨー釣りやわたがしなどでおもてなし。参加した保護者は「子どもが夏を感じながら年上の子と交流できてうれしい」と笑顔で話しました。

◀小学生のお姉さんが作ったかき氷を受け取る子ども



全国でも表彰台を目指して

8月17日から20日にかけて徳島県で開催される「第54回全国中学校柔道大会」に出場する藤枝順心中学校2年生の村越凛さん(大山)が8月10日、柳澤市長に大会での健闘を誓いました。

県大会で、個人戦、団体戦ともに優勝したことにより、出場権を獲得。凛さんは「相手の体勢が崩れた瞬間を狙って技を決めたい」と意気込みを語りました。

◀柳澤市長は「全国大会でも優勝を目指してほしい」と応援しました